

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		採取年月日		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)	
採取地		採取年月日		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)	
採取地		採取年月日		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)	
採取地		採取年月日		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)	
採取地		採取年月日		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)	
採取地		採取年月日		採取時刻		全水深 (m)		採取水深 (m)		採水量 (ml)	
No.	門	綱	出現種名								
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.		(5)	(5)					
2			Pseudanabaena spp.		(5)	(60)					
3			CHROOCOCCALES			(20)					
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE		30	375					
5	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa		+						
6			Aulacoseira ambigua		20	+					
7			Aulacoseira pusilla		40						
8			Fragilaria spp.		5	5					
9			Nitzschia acicularis		220	625					
10			Nitzschia fruticosa		90	100					
11			Nitzschia spp.		35	25					
12			Skeletonema potamos		10850	110					
13			Ulnaria japonica		80	105					
14			Ulnaria sp.		+						
15			Thalassiosiraceae-5		1100	1000					
16			Thalassiosiraceae-10		4800	15450					
17			Thalassiosiraceae-25		+	+					
18			緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.		40	120			
19	Chlorogonium spp.				5	180					
20	Dictyosphaerium spp.				60	100					
21	Micractinium spp.				50	20					
22	Monoraphidium spp.				10	15					
23	Pandorina morum					8					
24	Scenedesmus acuminatus				60	+					
25	Scenedesmus spp.				130	180					
26	Tetraedron sp.				+						
27	Treubaria sp.					5					
28	CHLOROPHYCEAE				25	125					
29	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.			1					
30			EUROTATOREA			1					
31	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA			11					
32		多膜口	Tintinnidium sp.		+						
33			POLYHYMENOPHORA		5	30					
34			CILIOPHORA		+	10					
35	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		150	75					
36			鞭毛藻		50	75					
37			鞭毛虫		50	175					
総数					17915	19011					
種類組成		藍藻		10	85						
		クリプト藻		30	375						
		渦鞭毛藻		0	0						
		黄金色藻		0	0						
		珪藻		17240	17420						
		ユーグレナ藻		0	0						
		緑藻		380	753						
		その他の植物性		200	150						
		動物性		55	228						
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理							
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。							
		検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。							
		検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人							
備考											
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 											

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下		手賀沼中央			
採取年月日		2024. 4. 16		2024. 4. 16			
採取時刻		9:10		9:34			
全水深 (m)		2.35		1.65			
採取水深 (m)		0.50		0.50			
採水量 (ml)		100		100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(5)			
2			Pseudanabaena spp.	(5)	(75)		
3			CHROOCOCCALES	(5)	(20)		
4			OSCILLATORIALES	(10)	(10)		
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	75	1150		
6	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua		20		
7			Aulacoseira pusilla	+	5		
8			Fragilaria spp.	+	15		
9			Melosira varians		3		
10			Nitzschia acicularis		45	450	
11			Nitzschia fruticosa		20	20	
12			Nitzschia spp.		20	25	
13			Skeletonema potamos		58300	12250	
14			Ulnaria japonica		20	60	
15			Ulnaria sp.		+		
16			Thalassiosiraceae-5		1150	3550	
17			Thalassiosiraceae-10		1700	5600	
18			Thalassiosiraceae-25		10		
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+			
20	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	100		
21			Chlorogonium spp.	40	120		
22			Dictyosphaerium spp.	100	+		
23			Micractinium spp.	140	290		
24			Monoraphidium spp.	15	85		
25			Pediastrum boryanum	32			
26			Scenedesmus acuminatus		40		
27			Scenedesmus spp.	30	160		
28			Schroederia sp.		5		
29			Tetraedron spp.	+	5		
30			Tetrastrum elegans		20		
31			CHLOROPHYCEAE	55	110		
32			繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	10	10
33				-	CILIOPHORA	+	25
34			不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	75	175
35					鞭毛藻		125
36		鞭毛虫		25	125		
総数				61890	24645		
種類組成		藍藻	25	105			
		クリプト藻	75	1150			
		渦鞭毛藻	0	0			
		黄金色藻	0	0			
		珪藻	61268	21995			
		ユーグレナ藻	0	0			
		緑藻	412	935			
		その他の植物性	75	300			
		動物性	35	160			
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理				
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。				
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。				
		検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人				
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 							

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2024.5.2	2024.5.2	
採取時刻			9:18	9:47	
全水深(m)			2.18	1.75	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Microcystis aeruginosa	+	
2			Pseudanabaena spp.	(5)	
3			CHROOCOCCALES	(10)	
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	525	
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	20	
6	不等毛植物	黄色藻	Synura sp.	+	
7			珪藻	Acanthoceras zachariasii	5
8				Aulacoseira pusilla	+
9				Aulacoseira granulata	+
10				Fragilaria sp.	5
11				Melosira varians	
12				Navicula sp.	+
13				Nitzschia acicularis	80
14				Nitzschia fruticosa	10
15				Nitzschia spp.	30
16				Skeletonema potamos	15400
17				Staurisirella berolinensis	
18				Ulnaria japonica	+
19	Thalassiosiraceae-5	1450			
20	Thalassiosiraceae-10	900			
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Phacus sp.	+	
22	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	40	
23			Chodatella wratislawiensis	5	
24			Coelastrum sp.	+	
25			Dictyosphaerium sp.	80	
26			Golenkinia sp.	5	
27			Micractinium spp.	20	
28			Monoraphidium spp.	25	
29			Pandorina morum		
30			Pediastrum duplex	16	
31			Scenedesmus acuminatus		
32			Scenedesmus bicaudatus		
33			Scenedesmus spp.	70	
34			Tetraedron spp.	5	
35	CHLOROPHYCEAE	45			
36	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	1	
37			EUROTATOREA		
38	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		
39			POLYHYMENOPHORA	20	
40			CILIOPHORA	+	
41	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	
42	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50	
43			鞭毛藻	25	
44			鞭毛虫	175	

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024. 5. 2	2024. 5. 2
総数		19012	15079
種類組成	藍藻	5	65
	クリプト藻	525	1150
	渦鞭毛藻	20	30
	黄色藻	0	0
	珪藻	17880	13022
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	311	440
	その他の植物性動物性	75	150
		196	222
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2024. 5. 17	2024. 5. 17
採取時刻			10:00	10:29
全水深 (m)			2.28	1.78
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(+)
2			Pseudanabaena sp.	(5)
3			CHROOCOCCALES	(10)
4			OSCILLATORIALES	(5)
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	900 950
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	10 15
7	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	10
8		珪藻	Acanthoceras zachariasii	20
9			Aulacoseira pusilla	+
10			Aulacoseira granulata	+
11			Fragilaria sp.	+
12			Nitzschia acicularis	105 380
13			Nitzschia fruticosa	40 140
14			Nitzschia spp.	75 170
15			Skeletonema potamos	32050 9500
16			Staurosirella berolinensis	+
17			Ulnaria japonica	5
18			Thalassiosiraceae-5	4900 3350
19			Thalassiosiraceae-10	2200 575
20			Thalassiosiraceae-25	10
21	緑色植物	緑藻	Acanthosphaera sp.	+
22			Chlorogonium spp.	15 10
23			Chodatella wratislawiensis	5 5
24			Coelastrum sp.	40
25			Crucigeniella crucifera	+
26			Dictyosphaerium sp.	80
27			Eudorina sp.	+
28			Micractinium spp.	150 80
29			Monoraphidium spp.	10 50
30			Oocystis spp.	+
31			Pediastrum duplex	+
32			Pediastrum simplex	16
33			Scenedesmus acuminatus	+
34			Scenedesmus spp.	10 230
35			Schroederia sp.	5
36			Tetraedron spp.	+
37			CHLOROPHYCEAE	55 40
38	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	1
39			Trichocercidae	1 2
40	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+
41		多膜口	Tintinnidium spp.	+
42			POLYHYMENOPHORA	10 30
43		-	CILIOPHORA	40 40
44	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	+
45		真正太陽虫	HELIOZOA	5 +
46	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	150 125
47			鞭毛藻	100 125
48			鞭毛虫	175 250

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024. 5. 17	2024. 5. 17
総数		41011	16289
種類組成	藍藻	0	20
	クリプト藻	900	950
	渦鞭毛藻	10	15
	黄色藻	0	10
	珪藻	39370	14150
	ユーグレナ藻	0	0
	その他の植物性	250	571
	動物性	231	323
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2024.6.4	2024.6.4		
採取時刻			9:24	9:51		
全水深(m)			2.25	1.78		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(5)		
2			CHROOCOCCALES	(10)		
3			OSCILLATORIALES	(5)		
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1850		
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	45		
6	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+		
7			珪藻	Acanthoceras zachariasii	+	
8			Asterionella formosa	+		
9			Aulacoseira ambigua	+		
10			Aulacoseira pusilla	50		
11			Fragilaria sp.	+		
12			Melosira varians	+		
13			Nitzschia acicularis	15		
14			Nitzschia fruticosa	40		
15			Nitzschia spp.	20		
16			Skeletonema potamos	6250		
17			Staurosirella berolinensis	+		
18			Ulnaria japonica	+		
19			Ulnaria sp.	+		
20			Thalassiosiraceae-5	675		
21			Thalassiosiraceae-10	1950		
22			Thalassiosiraceae-25	+		
23			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+
24					Trachelomonas spp.	5
25	緑色植物	緑藻	Acanthosphaera sp.	+		
26			Actinastrum sp.	20		
27			Ankistrodesmus sp.	20		
28			Chlorogonium spp.	40		
29			Chodatella sp.	+		
30			Coelastrum spp.	80		
31			Crucigenia lauterbornii	+		
32			Dichotomococcus spp.	+		
33			Dictyosphaerium spp.	220		
34			Golenkinia spp.	10		
35			Lobomonas spp.	+		
36			Micractinium spp.	20		
37			Monoraphidium spp.	5		
38			Oocystis spp.	10		
39			Pediastrum duplex	16		
40			Pediastrum simplex	16		
41			Polyedriopsis spinulosa	5		
42			Scenedesmus bicaudatus	80		
43			Scenedesmus denticulatus	140		
44			Scenedesmus spp.	100		
45			Schroederia sp.	5		
46			Tetrastrum elegans	20		
47			Treubaria sp.	5		
48		CHLOROPHYCEAE	210			
49	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.	+		
50			Brachionus spp.	2		
51			Schizocerca diversicornis	+		
52			Trichocercidae	2		
53	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	+		
54		-	CILIOPHORA	15		
55	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+		
56	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	75		
57			鞭毛藻	275		
58			鞭毛虫	50		

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024. 6. 4	2024. 6. 4
総数		12052	19734
種類組成	藍藻	5	20
	クリプト藻	1850	2500
	渦鞭毛藻	45	75
	黄色藻	0	5
	珪藻	9000	15215
	ユーグレナ藻	5	0
	その他の植物性	730	1267
	動物性	350	400
検査条件		67	252
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2024.6.24	2024.6.24
採取時刻			10:05	11:03
全水深(m)			2.28	1.70
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(15)
2			Microcystis aeruginosa	+
3			Pseudanabaena sp.	(5)
4			Pseudanabaenaceae	(5)
5			CHROOCOCCALES	(5)
6			OSCILLATORIALES	(5)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	600
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+
9			Peridinium spp.	15
10	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	7
11			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE
12		珪藻	Acanthoceras zachariasii	5
13			Aulacoseira ambigua	+
14			Aulacoseira pusilla	+
15			Aulacoseira granulata	10
16			Nitzschia acicularis	10
17			Nitzschia fruticosa	30
18			Nitzschia spp.	20
19			Skeletonema potamos	1325
20			Ulnaria japonica	+
21			Thalassiosiraceae-5	1000
22			Thalassiosiraceae-10	1000
23			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻
24	緑色植物	緑藻	Acanthosphaera sp.	5
25			Actinastrum spp.	+
26			Ankistrodesmus sp.	40
27			Chlorogonium spp.	5
28			Chodatella wratislawiensis	5
29			Coelastrum spp.	80
30			Dichotomococcus sp.	+
31			Dictyosphaerium spp.	40
32			Eudorina sp.	16
33			Golenkinia spp.	15
34			Micractinium spp.	80
35			Monoraphidium spp.	5
36			Oocystis sp.	10
37			Pandorina morum	8
38			Pediastrum duplex	+
39			Pediastrum simplex	+
40			Scenedesmus acuminatus	60
41			Scenedesmus spp.	90
42			Tetraedron spp.	+
43			Tetrastrum elegans	+
44				CHLOROPHYCEAE
45	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	1
46			Filinia sp.	1
47			Polyarthra spp.	3
48			Schizocerca diversicornis	+
49			Trichocercidae	+
50		EUROTATOREA	1	
51	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	4
52			POLYHYMENOPHORA	60
53			CILIOPHORA	10
54	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	10
55	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	100
56			鞭毛藻	125
57			鞭毛虫	75

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024.6.24	2024.6.24
総数		4933	23183
種類組成	藍藻	15	40
	クリプト藻	600	6900
	渦鞭毛藻	15	75
	黄色藻	7	0
	珪藻	3385	14410
	ユーグレナ藻	10	5
	その他の植物性	523	988
	動物性	225	627
検査条件		153	138
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央			
採取年月日			2024.7.2	2024.7.2			
採取時刻			9:33	10:07			
全水深(m)			2.31	1.88			
採取水深(m)			0.50	0.50			
採水量(ml)			100	100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(5)	(30)		
2			Merismopedia spp.	(5)	(20)		
3			Snowella sp.		(+)		
4			CHROOCOCCALES	(10)	(20)		
5			OSCILLATORIALES		(5)		
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1050	2000		
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.		+		
8			Peridinium spp.	15	50		
9	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	25			
10			Synura sp.		+		
11		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		1		
12		珪藻	Acanthoceras zachariasii	5	5		
13			Aulacoseira ambigua		+		
14			Aulacoseira pusilla		30		
15			Aulacoseira granulata	+	+		
16			Melosira varians	+			
17			Navicula sp.		+		
18			Nitzschia acicularis	20	55		
19			Nitzschia fruticosa	+	+		
20			Nitzschia spp.	25	190		
21			Skeletonema potamos	5400	630		
22			Ulnaria japonica	+			
23			Thalassiosiraceae-5	1300	3600		
24	Thalassiosiraceae-10		1250	1650			
25	Thalassiosiraceae-25		+				
26	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	5		
27	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	40		
28			Ankistrodesmus sp.	+			
29			Chlorogonium spp.	15	5		
30			Closterium sp.		+		
31			Coelastrum spp.	40	+		
32			Crucigeniella crucifera		+		
33			Dichotomococcus sp.		20		
34			Dictyosphaerium spp.	220	80		
35			Golenkinia sp.	5			
36			Mougeotia spp.	+	+		
37			Oocystis sp.	+			
38			Pediastrum duplex	32	+		
39			Pediastrum tetras	+			
40			Scenedesmus spp.	160	100		
41			Schroederia sp.		5		
42			Tetrastrum heterocanthum	+			
43			CHLOROPHYCEAE	310	95		
44			輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	+	1
45					Hexarthra mira	+	
46	Polyarthra spp.	+			2		
47	Synchaeta sp.	+					
48	Trichocercidae	+			+		
49	EUROTATOREA				+		
50	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	+	3		
51			POLYHYMENOPHORA	5	20		
52		-	CILIOPHORA	+	20		
53	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	5			
54		真正太陽虫	HELIOZOA	+	5		
55	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50	225		
56			鞭毛藻	175	275		
57			鞭毛虫	100	200		

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024.7.2	2024.7.2
総数		10227	9387
種類組成	藍藻	20	75
	クリプト藻	1050	2000
	渦鞭毛藻	15	50
	黄色藻	25	0
	珪藻	8000	6160
	ユーグレナ藻	0	5
	その他の植物性	782	345
	動物性	225	501
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2024.7.18	2024.7.18		
採取時刻			9:12	9:42		
全水深(m)			2.22	1.80		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(25)	(50)	
2			Cyanodictyon spp.	(70)	(55)	
3			Merismopedia spp.	(60)	(80)	
4			Pseudanabaena sp.	(+)		
5			CHROOCOCCALES	(180)	(100)	
6			OSCILLATORIALES	(10)	(25)	
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	750	2550	
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+		
9			Peridinium spp.	10	60	
10	不等毛植物	ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		2	
11			珪藻	Acanthoceras zachariasii		+
12				Aulacoseira pusilla	+	40
13				Aulacoseira granulata	+	+
14				Fragilaria sp.		+
15				Nitzschia acicularis	25	105
16				Nitzschia fruticosa	+	80
17				Nitzschia spp.	115	160
18				Skeletonema potamos	5700	5600
19				Ulnaria japonica	+	+
20				Ulnaria spp.	5	+
21				Thalassiosiraceae-5	13350	18050
22				Thalassiosiraceae-10	5500	5750
23				Thalassiosiraceae-25		+
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻		Euglena spp.	+	+
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	40	80	
26			Chlorogonium spp.	150	210	
27			Coelastrum sp.		+	
28			Crucigenia lauterbornii	+	+	
29			Crucigeniella crucifera	20		
30			Dichotomococcus spp.	60	50	
31			Dictyosphaerium spp.	120	340	
32			Elakatothrix sp.	+		
33			Golenkinia sp.	5		
34			Gonium spp.	16	48	
35			Micractinium spp.	180	20	
36			Monoraphidium sp.		15	
37			Mougeotia sp.	+		
38			Oocystis sp.		20	
39			Pediastrum duplex		+	
40			Polyedriopsis spinulosa		5	
41			Scenedesmus acuminatus	+		
42			Scenedesmus bicaudatus	20	60	
43			Scenedesmus denticulatus		20	
44			Scenedesmus spp.	60	150	
45			Schroederia spp.	5	15	
46			Tetrastrum elegans	20		
47			Tetrastrum heterocanthum		20	
48			Treubaria sp.		+	
49		CHLOROPHYCEAE	190	180		
50	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.	+		
51			Brachionus spp.	+	+	
52			Polyarthra spp.	1	2	
53			Trichocercidae	1	3	
54		EUROTATOREA	+			
55	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	2	
56			POLYHYMENOPHORA	5	5	
57			CILIOPHORA	5	10	
58	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA		5	
59		真正太陽虫	HELIOZOA		+	
60	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	325	975	
61			鞭毛藻	375	375	
62			鞭毛虫	250	300	

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024. 7. 18	2024. 7. 18
総数		27649	35617
種類組成	藍藻	345	310
	クリプト藻	750	2550
	渦鞭毛藻	10	60
	黄色藻	0	0
	珪藻	24695	29785
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	886	1233
	その他の植物性動物性	700	1352
検査条件		263	327
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央			
採取年月日			2024. 8. 7	2024. 8. 7			
採取時刻			9:21	9:55			
全水深 (m)			2.30	1.85			
採取水深 (m)			0.50	0.50			
採水量 (ml)			100	100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(80)	(800)		
2			Cyanodictyon spp.	(1250)	(160)		
3			Merismopedia spp.	(190)	(180)		
4			Microcystis aeruginosa	60	64		
5			Pseudanabaena spp.		(10)		
6			Nostocaceae		(2)		
7			CHROOCOCCALES	(100)	(70)		
8			OSCILLATORIALES	(1200)	(1550)		
9	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1350	1600		
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	20	45		
11	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	5			
12		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	+	1		
13		珪藻	Aulacoseira ambigua		+		
14			Aulacoseira pusilla	40	20		
15			Aulacoseira granulata		+		
16			Nitzschia acicularis	60	200		
17			Nitzschia fruticosa	160	120		
18			Nitzschia spp.	200	1000		
19			Skeletonema potamos	925	170		
20			Surirella sp.	1			
21			Thalassiosiraceae-5	5250	10000		
22			Thalassiosiraceae-10	3600	4400		
23			Thalassiosiraceae-25	5			
24			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	5	+
25			緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
26	Ankistrodesmus sp.	20					
27	Chlorogonium spp.	100			310		
28	Chodatella wratislawiensis	5					
29	Chodatella spp.	5			+		
30	Coelastrum spp.	+			80		
31	Cosmarium sp.				+		
32	Crucigenia lauterbornii	+					
33	Crucigenia tetrapedia	20					
34	Crucigeniella crucifera	220					
35	Dichotomococcus spp.	40			370		
36	Dictyosphaerium spp.	340			820		
37	Elakatothrix spp.	+			10		
38	Gonium spp.	32			16		
39	Micractinium spp.	60					
40	Monoraphidium spp.	20			25		
41	Oocystis spp.	20			+		
42	Pediastrum asymmetricum	+					
43	Pediastrum biradiatum	+					
44	Pediastrum duplex	32			32		
45	Pediastrum tetras	+			+		
46	Polyedriopsis spinulosa	+					
47	Scenedesmus acuminatus				40		
48	Scenedesmus bicaudatus	40			100		
49	Scenedesmus denticulatus	+			20		
50	Scenedesmus spp.	400			880		
51	Schroederia spp.				25		
52	Tetrastrum elegans	20			40		
53	Tetrastrum heterocanthum				20		
54	Treubaria sp.				5		
55	CHLOROPHYCEAE	145			310		
56	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.		1		
57			Brachionus sp.		1		
58			Polyarthra spp.	2	5		
59			Schizocerca diversicornis	+	1		
60			Trichocercidae	+	+		
61			EUROTATOREA	2	1		
62	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+			
63		多膜口	Tintinnidium spp.		2		
64			POLYHYMENOPHORA	35	105		
65		-	CILIOPHORA	55	30		
66	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	5	5		
67		真正太陽虫	HELIOZOA	+	+		
68	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	250	175		
69			鞭毛藻	50	25		
70			鞭毛虫	175	125		

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024. 8. 7	2024. 8. 7
総数		16594	23971
種類組成	藍藻	2880	2836
	クリプト藻	1350	1600
	渦鞭毛藻	20	45
	黄色藻	5	0
	珪藻	10241	15910
	ユーグレナ藻	5	0
	緑藻	1519	3103
	その他の植物性動物性	300	201
		274	276
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2024. 8. 22	2024. 8. 22	
採取時刻			9:25	9:48	
全水深 (m)			2.20	1.83	
採取水深 (m)			0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(240)	(625)
2			Coelosphaerium spp.	(+)	(5)
3			Cyanodictyon spp.	(50)	(30)
4			Merismopedia spp.	(200)	(375)
5			Microcystis aeruginosa	115	165
6			Pseudanabaena spp.	(10)	(10)
7			CHROOCOCCALES	(50)	(65)
8			OSCILLATORIALES	(210)	(525)
9	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1900	1700
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	40	65
11	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		+
12		珪藻	Aulacoseira ambigua	15	
13			Aulacoseira pusilla	15	+
14			Aulacoseira granulata	10	50
15			Melosira varians	+	
16			Nitzschia acicularis	65	300
17			Nitzschia fruticosa	150	480
18			Nitzschia spp.	190	575
19			Skeletonema potamos	580	150
20			Staurosirella berolinensis		+
21			Ulnaria japonica		5
22			Thalassiosiraceae-5	6450	9050
23			Thalassiosiraceae-10	2050	2150
24			Thalassiosiraceae-25	+	+
25	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	25
26			Phacus sp.	+	
27	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	40
28			Ankistrodesmus sp.	+	
29			Chlorogonium spp.	250	250
30			Coelastrum spp.	40	440
31			Cosmarium spp.	+	+
32			Crucigenia lauterbornii	60	200
33			Crucigeniella crucifera		80
34			Dictyosphaerium spp.	220	500
35			Elakatothrix spp.	+	10
36			Gonium spp.	+	80
37			Micractinium spp.	+	10
38			Monoraphidium spp.	+	15
39			Oocystis spp.	10	+
40			Pandorina morum	+	
41			Pediastrum boryanum	+	
42			Pediastrum duplex	+	16
43			Pediastrum simplex		+
44			Pediastrum tetras	16	8
45			Polyedriopsis spinulosa		+
46			Scenedesmus acuminatus	20	20
47			Scenedesmus bicaudatus	+	60
48			Scenedesmus denticulatus	40	20
49			Scenedesmus spp.	270	640
50			Schroederia spp.	5	+
51			Staurastrum spp.		10
52			Tetraedron sp.		+
53			Tetrastrum elegans	+	40
54			Tetrastrum heterocanthum	+	20
55			Treubaria spp.	5	10
56			CHLOROPHYCEAE	800	1000
57	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.		+
58			Filinia sp.		+
59			Polyarthra spp.	2	4
60			Trichocercidae	3	5
61		EUROTATOREA	1	+	
62	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+	
63		多膜口	Tintinnidium spp.	1	3
64			POLYHYMENOPHORA	25	65
65		-	CILIOPHORA	15	15
66	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+
67	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	625	925
68			鞭毛藻	75	125
69			鞭毛虫	300	525

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024. 8. 22	2024. 8. 22
総数		15123	21486
種類組成	藍藻	875	1800
	クリプト藻	1900	1700
	渦鞭毛藻	40	65
	黄色藻	0	0
	珪藻	9525	12760
	ユーグレナ藻	0	25
	その他の植物性	700	1050
	動物性	347	617
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2024.9.10	2024.9.10		
採取時刻			9:32	9:59		
全水深(m)			1.91	1.53		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(60)	(75)	
2			Coelosphaerium sp.		(5)	
3			Cyanodictyon spp.	(80)	(65)	
4			Merismopedia spp.	(375)	(1500)	
5			Microcystis aeruginosa	20	+	
6			Microcystis wesenbergii		84	
7			Pseudanabaena mucicola	(+)		
8			Pseudanabaena spp.	(+)	(20)	
9			Pseudanabaenaceae		(+)	
10			CHROOCOCCALES	(30)	(180)	
11			OSCILLATORIALES	(230)	(800)	
12	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1400	2100	
13	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+	20	
14	不等毛植物	ラフィド藻	ラフィド藻			
15			珪藻	Aulacoseira ambigua	+	
16			Aulacoseira pusilla	+		
17			Aulacoseira granulata	20	40	
18			Navicula sp.	+		
19			Nitzschia acicularis	85	425	
20			Nitzschia fruticosa	20	160	
21			Nitzschia spp.	400	1450	
22			Skeletonema potamos	1030	430	
23			Ulnaria japonica	5		
24			Thalassiosiraceae-5	3800	4000	
25			Thalassiosiraceae-10	2300	1800	
26			Thalassiosiraceae-25		+	
27						
28	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	5	10	
29	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	80	320	
30			Chlorogonium spp.	160	1000	
31			Chodatella sp.	+		
32			Coelastrum spp.	+	+	
33			Crucigenia lauterbornii	20		
34			Dichotomococcus spp.		90	
35			Dictyosphaerium spp.	120	640	
36			Golenkinia sp.		+	
37			Gonium sp.		+	
38			Micractinium spp.	20	+	
39			Monoraphidium spp.	15	25	
40			Oocystis spp.	10	20	
41			Pandorina morum	+		
42			Pediastrum asymmetricum		+	
43			Pediastrum duplex	8	+	
44			Pediastrum simplex		+	
45			Pediastrum tetras		+	
46			Polyedriopsis spinulosa		5	
47			Scenedesmus acuminatus	+	20	
48			Scenedesmus bicaudatus		40	
49			Scenedesmus denticulatus		+	
50			Scenedesmus spp.	290	440	
51			Schroederia spp.	5	5	
52			Tetraedron sp.	5		
53			Tetrastrum elegans	+	+	
54			Treubaria sp.		5	
55			CHLOROPHYCEAE	550	1050	
56	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	+		
57			Polyarthra spp.	1	1	
58			Trichocercidae	+	3	
59			BDELLOIDEA		1	
60			EUROTATOREA	1	2	
61	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+	
62			多膜口	Tintinnidium sp.	1	
63			POLYHYMENOPHORA	30	60	
64			CILIOPHORA	25	5	
65	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	5	5	
66	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	350	200	
67			鞭毛藻	125	75	
68			鞭毛虫	100	200	

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024. 9. 10	2024. 9. 10
総数		11782	17376
種類組成	藍藻	795	2729
	クリプト藻	1400	2100
	渦鞭毛藻	0	20
	黄色藻	0	0
	珪藻	7660	8305
	ユーグレナ藻	5	10
	その他の植物性	476	275
	動物性	163	277
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2024.9.25	2024.9.25	
採取時刻			9:40	10:07	
全水深(m)			1.95	1.40	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(40)	(170)
2			Cyanodictyon spp.	(65)	(50)
3			Merismopedia spp.	(60)	(65)
4			Microcystis aeruginosa	54	435
5			Microcystis wesenbergii		74
6			Pseudanabaena mucicola	(+)	
7			Pseudanabaena spp.	(10)	(15)
8			CHROOCOCCALES	(70)	(105)
9			OSCILLATORIALES	(140)	(1000)
10	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1500	475
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	20	190
12	不等毛植物	珪藻	Acanthoceras zachariasii	+	
13			Aulacoseira ambigua		10
14			Aulacoseira granulata	40	145
15			Nitzschia acicularis	50	850
16			Nitzschia fruticosa	+	340
17			Nitzschia spp.	200	950
18			Pinnularia sp.	+	
19			Skeletonema potamos	5250	5050
20			Surirella sp.		1
21			Ulnaria japonica	15	
22			Thalassiosiraceae-5	5150	3300
23			Thalassiosiraceae-10	2650	1900
24			Thalassiosiraceae-25	+	5
25	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	5	
26			Lepocinclis sp.	+	
27	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
28			Chlorogonium spp.	100	100
29			Chodatella wratislawiensis		5
30			Coelastrum sp.		40
31			Crucigenia lauterbornii	+	180
32			Crucigenia tetrapedia	+	
33			Crucigeniella crucifera	+	
34			Dictyosphaerium spp.	20	720
35			Elakatothrix sp.		+
36			Golenkinia spp.	15	
37			Micractinium spp.	20	60
38			Monoraphidium sp.	5	
39			Oocystis sp.	+	
40			Pediastrum duplex	+	16
41			Pediastrum simplex	+	24
42			Pediastrum tetras		+
43			Scenedesmus acuminatus	+	20
44			Scenedesmus bicaudatus	20	40
45			Scenedesmus denticulatus	+	+
46			Scenedesmus spp.	180	3700
47			Schroederia spp.	5	10
48			Tetrastrum elegans	+	20
49			Tetrastrum heterocanthum		+
50			Treubaria sp.		5
51				CHLOROPHYCEAE	105
52	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	+	
53			Polyarthra spp.		3
54			Schizocerca diversicornis	1	+
55			Trichocercidae	1	9
56			BDELLOIDEA	+	+
57			EUROTATOREA		10
58	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+
59		多膜口	Tintinnidium spp.	1	2
60			POLYHYMENOPHORA	20	45
61			CILIOPHORA	5	15
62	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	
63	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	40	375
64			鞭毛藻	50	375
65			鞭毛虫	70	250

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024. 9. 25	2024. 9. 25
総数		15977	21374
種類組成	藍藻	439	1914
	クリプト藻	1500	475
	渦鞭毛藻	20	190
	黄色藻	0	0
	珪藻	13355	12551
	ユーグレナ藻	5	0
	その他の植物性	470	5160
	動物性	90	750
検査条件		98	334
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2024.10.8	2024.10.8	
採取時刻			9:22	9:45	
全水深(m)			1.82	1.54	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(80)	(200)
2			Cuspidothrix sp.	(+)	
3			Cyanodictyon spp.	(10)	(10)
4			Merismopedia spp.	(20)	(75)
5			Microcystis aeruginosa	98	46
6			Microcystis wesenbergii		88
7			Pseudanabaena spp.	(5)	(15)
8			CHROOCOCCALES	(25)	(20)
9				OSCILLATORIALES	(60)
10	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	750	950
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	50	40
12	不等毛植物	珪藻	Acanthoceras zachariasi	20	5
13			Aulacoseira ambigua	15	+
14			Aulacoseira pusilla		40
15			Aulacoseira granulata		50
16			Navicula sp.		+
17			Nitzschia acicularis	10	100
18			Nitzschia fruticosa	20	20
19			Nitzschia spp.	75	190
20			Skeletonema potamos	6600	6550
21			Surirella sp.	1	
22			Ulnaria japonica	+	5
23			Ulnaria spp.	+	+
24			Thalassiosiraceae-5	1350	3350
25			Thalassiosiraceae-10	260	1650
26		Thalassiosiraceae-25		+	
27	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Lepocinclis sp.	5	
28	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+
29			Chlorogonium spp.	20	115
30			Coelastrum sp.		80
31			Dictyosphaerium spp.	20	180
32			Elakatothrix sp.		+
33			Golenkinia spp.	10	+
34			Monoraphidium spp.	+	10
35			Oocystis sp.		+
36			Pediastrum duplex	+	32
37			Pediastrum simplex	+	+
38			Scenedesmus acuminatus	40	20
39			Scenedesmus bicaudatus		20
40			Scenedesmus denticulatus		+
41			Scenedesmus spp.	110	480
42			Tetrastrum elegans		+
43			Tetrastrum heterocanthum		+
44				CHLOROPHYCEAE	60
45	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		+
46			Polyarthra spp.	1	1
47			Trichocercidae	+	3
48			EUROTATOREA		3
49	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	+	+
50			POLYHYMENOPHORA	15	5
51			CILIOPHORA	5	30
52	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA		+
53	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	500
54			鞭毛藻	75	50
55			鞭毛虫	100	125

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024.10.8	2024.10.8
総数		10060	15438
種類組成	藍藻	298	684
	クリプト藻	750	950
	渦鞭毛藻	50	40
	黄金色藻	0	0
	珪藻	8351	11960
	ユーグレナ藻	5	0
	その他の植物性	260	1087
	動物性	121	167
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2024.10.22	2024.10.22
採取時刻			9:28	9:56
全水深(m)			1.80	1.40
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(15)
2			Coelosphaerium sp.	(+)
3			Cyanodictyon spp.	(5)
4			Merismopedia spp.	(5)
5			Microcystis aeruginosa	26
6			Pseudanabaena sp.	(5)
7			CHROOCOCCALES	(20)
8			OSCILLATORIALES	(50)
9	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1100
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	5
11			Peridinium spp.	30
12	不等毛植物	黄金色藻 珪藻	Mallomonas sp.	5
13			Acanthoceras zachariasii	10
14			Aulacoseira pusilla	+
15			Aulacoseira granulata	30
16			Fragilaria sp.	+
17			Melosira varians	+
18			Navicula sp.	+
19			Nitzschia acicularis	5
20			Nitzschia fruticosa	20
21			Nitzschia spp.	80
22			Skeletonema potamos	16500
23			Surirella sp.	+
24			Ulnaria japonica	10
25			Ulnaria sp.	+
26	Thalassiosiraceae-5	4000		
27	Thalassiosiraceae-10	800		
28	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	5
29	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	40
30			Ankistrodesmus sp.	+
31			Chlorogonium spp.	190
32			Chodatella sp.	+
33			Crucigenia lauterbornii	40
34			Dichotomococcus sp.	+
35			Dictyosphaerium spp.	40
36			Elakatothrix spp.	20
37			Golenkinia sp.	+
38			Micractinium spp.	+
39			Monoraphidium spp.	25
40			Oocystis sp.	15
41			Pediastrum simplex	32
42			Scenedesmus acuminatus	30
43			Scenedesmus denticulatus	+
44			Scenedesmus spp.	60
45			Tetraedron spp.	+
46			Tetrastrum elegans	40
47			Tetrastrum heterocanthum	20
48			Treubaria sp.	+
49			CHLOROPHYCEAE	170
50	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	+
51			Polyarthra sp.	+
52			Schizocerca diversicornis	+
53			Synchaeta sp.	+
54			Trichocercidae	1
55	EUROTATOREA	1		
56	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	2
57			POLYHYMENOPHORA	5
58			CILIOPHORA	20
59	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	+
60			真正太陽虫	HELIOZOA
61	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50
62			鞭毛藻	225
63			鞭毛虫	75

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024. 10. 22	2024. 10. 22
総数		23607	12794
種類組成	藍藻	56	271
	クリプト藻	1100	625
	渦鞭毛藻	35	40
	黄色藻	5	0
	珪藻	21445	10590
	ユーグレナ藻	5	0
	緑藻	577	835
	その他の植物性動物性	275	300
		109	133
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</p> <p>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点		根戸下	手賀沼中央			
採取年月日		2024. 11. 12	2024. 11. 12			
採取時刻		9:47	10:18			
全水深 (m)		1.90	1.48			
採取水深 (m)		0.50	0.50			
採水量 (ml)		100	100			
No.	門	網	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(+)		
2			Merismopedia spp.	(10)	(+)	
3			Microcystis aeruginosa	+	32	
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	220	525	
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	15	25	
6	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.		12	
7			珪藻	Acanthoceras zachariasii		5
8				Aulacoseira pusilla	+	+
9				Navicula sp.		5
10				Nitzschia acicularis	10	45
11				Nitzschia fruticosa	+	40
12				Nitzschia spp.	20	60
13				Skeletonema potamos	12100	42050
14				Ulnaria japonica	+	5
15				Ulnaria sp.	+	
16	Thalassiosiraceae-5	1100		1300		
17	Thalassiosiraceae-10	625	1950			
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+		
19	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+		
20			Chlorogonium spp.	15	135	
21			Dictyosphaerium spp.	+	60	
22			Micractinium spp.	+	40	
23			Monoraphidium spp.	5	10	
24			Oocystis sp.	+		
25			Pediastrum duplex		+	
26			Scenedesmus bicaudatus	20		
27			Scenedesmus spp.	+	50	
28			Tetraedron spp.	5	+	
29			CHLOROPHYCEAE	35	170	
30	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		1	
31	絨毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	+	6	
32			POLYHYMENOPHORA	5	30	
33			—	CILIOPHORA	5	+
34	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		10	
35	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	75	225	
36			鞭毛藻	75	300	
37			鞭毛虫	75	125	
総		数		14415	47216	
種類組成		藍藻	10	32		
		クリプト藻	220	525		
		渦鞭毛藻	15	25		
		黄金色藻	0	12		
		珪藻	13855	45460		
		ユーグレナ藻	0	0		
		緑藻	80	465		
		その他の植物性	150	525		
		動物性	85	172		
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2024. 11. 26	2024. 11. 26
採取時刻			9:23	9:46
全水深 (m)			1.88	1.43
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia spp.	(35)
2			OSCILLATORIALES	(5)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	750
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	40
5	不等毛植物	ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	1
6		珪藻	Aulacoseira ambigua	+
7			Gyrosigma sp.	+
8			Navicula spp.	5
9			Nitzschia acicularis	15
10			Nitzschia fruticosa	+
11			Nitzschia spp.	5
12			Skeletonema potamos	27950
13			Ulnaria japonica	+
14			Ulnaria sp.	+
15			Thalassiosiraceae-5	425
16			Thalassiosiraceae-10	700
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	5
18	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	5
19			Crucigenia tetrapedia	80
20			Dictyosphaerium sp.	40
21			Golenkinia sp.	+
22			Micractinium spp.	+
23			Monoraphidium spp.	5
24			Pediastrum duplex	+
25			Scenedesmus spp.	80
26			Staurastrum sp.	5
27			Tetrastrum heterocanthum	20
28			CHLOROPHYCEAE	50
29	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	2
30			POLYHYMENOPHORA	20
31		-	CILIOPHORA	5
32	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	5
33	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	20
34			鞭毛藻	40
35			鞭毛虫	10
総数			30061	110827
種類組成				
			藍藻	50
			クリプト藻	1000
			渦鞭毛藻	35
			黄金色藻	0
			珪藻	108605
			ユーグレナ藻	0
			緑藻	450
			その他の植物性	350
			動物性	337
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人
備考				
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2024.12.10	2024.12.10		
採取時刻			9:21	9:45		
全水深(m)			1.90	1.45		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia sp.	(5)		
2			Pseudanabaena sp.	(+)		
3			CHROOCOCCALES	(5)		
4			OSCILLATORIALES	(10)		
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	360 2100		
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	15 55		
7	不等毛植物	珪藻	黄金色藻	Mallomonas sp.	5	
8			Aulacoseira ambigua	+		
9			Aulacoseira pusilla	+		
10			Aulacoseira granulata	+		
11			Fragilaria spp.	+		
12			Gyrosigma sp.	+		
13			Melosira varians	+		
14			Navicula sp.	+		
15			Nitzschia acicularis	15		
16			Nitzschia fruticosa	+		
17			Nitzschia spp.	+		
18			Skeletonema potamos	5600		
19			Staurosirella berolinensis	+		
20			Ulnaria japonica	20		
21			Thalassiosiraceae-5	275		
22			Thalassiosiraceae-10	850		
23			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+
24			緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	5
25					Chodatella quadriseta	+
26					Dictyosphaerium spp.	140
27	Golenkinia sp.	5				
28	Micractinium spp.	+				
29	Monoraphidium spp.	5				
30	Scenedesmus spp.	10				
31	Tetraedron spp.	10				
32	CHLOROPHYCEAE	35				
33	輪形動物	輪虫			Brachionus sp.	+
34					Synchaeta sp.	+
35			EUROTATOREA	+		
36	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	+		
37			POLYHYMENOPHORA	10		
38			CILIOPHORA	+		
39	不明プランクトン	-	微小鞭毛藻(5μm以下)	50		
40			鞭毛藻	120		
41			鞭毛虫	20		

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2024.12.10	2024.12.10
総数		7400	12231
種類組成	藍藻	0	20
	クリプト藻	360	2100
	渦鞭毛藻	15	55
	黄色藻	5	0
	珪藻	6760	8265
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	60	520
	その他の植物性動物性	170	750
		30	521
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2024.12.24	2024.12.24		
採取時刻			10:02	11:12		
全水深(m)			1.90	1.40		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	OSCILLATORIALES	(20)		
2	ケリプト植物	ケリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	160		
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+		
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	5		
5		珪藻	Aulacoseira pusilla	+		
6			Aulacoseira granulata	+		
7			Bacillaria paxillifer	+		
8			Diatoma sp.	+		
9			Fragilaria sp.	5		
10			Gyrosigma sp.	+		
11			Melosira varians	+		
12			Navicula sp.	+		
13			Nitzschia acicularis	140		
14			Nitzschia fruticosa	+		
15			Nitzschia spp.	10		
16			Skeletonema potamos	2900		
17			Staurosirella berolinensis	+		
18			Ulnaria japonica	75		
19			Ulnaria sp.	+		
20			Thalassiosiraceae-5	700		
21		Thalassiosiraceae-10	9100			
22	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+		
23	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+		
24			Chlorogonium spp.	5		
25			Chodatella quadriseta	+		
26			Dictyosphaerium spp.	+		
27			Micractinium spp.	10		
28			Monoraphidium spp.	20		
29			Scenedesmus sp.	+		
30			Schroederia sp.	5		
31			CHLOROPHYCEAE	55		
32			織毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	35
33				-	CILIOPHORA	+
34	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	125		
35			鞭毛藻	150		
36			鞭毛虫	100		
総数				13580		
種類組成			藍藻	20		
			ケリプト藻	160		
			渦鞭毛藻	0		
			黄金色藻	5		
			珪藻	12925		
			ユーグレナ藻	0		
			緑藻	95		
			その他の植物性	275		
			動物性	100		
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2025.1.9	2025.1.9		
採取時刻			9:47	10:27		
全水深(m)			1.92	1.45		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia sp.	(5)		
2			Pseudanabaena spp.	(10)		
3			CHROOCOCCALES	(5)		
4			OSCILLATORIALES	(15)		
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	75 450		
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5 20		
7	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	+		
8			Mallomonas sp.	5		
9			珪藻	Asterionella formosa	+	
10		Aulacoseira ambigua		90 10		
11		Aulacoseira pusilla		15 +		
12		Fragilaria spp.		+ 10		
13		Melosira varians		+ +		
14		Navicula sp.		+ +		
15		Nitzschia acicularis		70 250		
16		Nitzschia fruticosa		+ +		
17		Nitzschia spp.		+ 10		
18		Skeletonema potamos		660 875		
19		Staurosirella berolinensis		+ +		
20		Ulnaria japonica		85 240		
21		Thalassiosiraceae-5		420 1400		
22		Thalassiosiraceae-10		18000 46750		
23		ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Euglena spp.	5 +
24		緑色植物		緑藻	Actinastrum sp.	20
25			Chlorogonium spp.		+ 45	
26	Chodatella quadriseta		5			
27	Chodatella wratislawiensis		5			
28	Dictyosphaerium spp.		20 60			
29	Kirchneriella sp.		20			
30	Micractinium spp.		20 80			
31	Monoraphidium spp.		15 25			
32	Pandorina morum		+ +			
33	Scenedesmus spp.		50 50			
34	Tetraedron sp.		+ +			
35			CHLOROPHYCEAE		30 30	
36	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	2		
37			POLYHYMENOPHORA	5 15		
38		-	CILIOPHORA	+ +		
39	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	+ +		
40	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50 225		
41			鞭毛藻	125		
42			鞭毛虫	200 250		

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2025.1.9	2025.1.9
総数		19860	50967
種類組成	藍藻	10	25
	クリプト藻	75	450
	渦鞭毛藻	5	20
	黄色藻	5	0
	珪藻	19340	49545
	ユーグレナ藻	5	0
	緑藻	165	310
	その他の植物性動物性	50	350
	205	267	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2025.1.17	2025.1.17		
採取時刻			9:12	9:37		
全水深(m)			1.87	1.45		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena sp.	(5)		
2			CHROOCOCCALES	(5)		
3			OSCILLATORIALES	(20)		
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	230 40		
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	15 5		
6	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	5		
7			Synura sp.	+		
8		珪藻	Asterionella formosa	+		
9			Aulacoseira ambigua	60 70		
10			Aulacoseira pusilla	+		
11			Bacillaria paxillifer	16		
12			Fragilaria sp.	+		
13			Melosira varians	+		
14			Navicula sp.	5		
15			Nitzschia acicularis	80 220		
16			Nitzschia fruticosa	60 10		
17			Nitzschia spp.	10		
18			Skeletonema potamos	335 920		
19			Ulnaria japonica	125 115		
20			Ulnaria sp.	5		
21			Thalassiosiraceae-5	775 975		
22			Thalassiosiraceae-10	22800 46850		
23			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	10
24			緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+
25					Chlorogonium spp.	+
26					Chodatella quadriseta	5
27		Dictyosphaerium spp.			40 140	
28	Kirchneriella spp.	40				
29	Micractinium spp.	10 30				
30	Monoraphidium spp.	15 25				
31	Pandorina morum	+				
32	Scenedesmus acuminatus	20				
33	Scenedesmus spp.	10 20				
34	Tetraedron sp.	+				
35		CHLOROPHYCEAE			55 25	
36	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.	+		
37			EUROTATOREA	+		
38	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	10 25		
39			-	CILIOPHORA	+	
40	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50 275		
41			鞭毛藻	25		
42			鞭毛虫	150 150		

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2025. 1. 17	2025. 1. 17
総数		24911	50065
種類組成	藍藻	5	25
	クリプト藻	230	40
	渦鞭毛藻	15	5
	黄色藻	0	5
	珪藻	24266	49185
	ユーグレナ藻	10	0
	緑藻	175	330
	その他の植物性動物性	50	300
		160	175
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</p> <p>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2025.2.12	2025.2.12
採取時刻			12:44	13:10
全水深(m)			1.87	1.42
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(3) (1)
2			Pseudanabaena spp.	(10) (35)
3			CHROOCOCCALES	(5)
4			OSCILLATORIALES	(5) (+)
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	75 65
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5 5
7	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	6
8			Aulacoseira ambigua	370 260
9			Aulacoseira pusilla	60 25
10			Aulacoseira granulata	+
11			Fragilaria spp.	10
12			Melosira varians	3
13			Nitzschia acicularis	165 525
14			Nitzschia fruticosa	+
15			Nitzschia spp.	15 +
16			Skeletonema potamos	260 315
17			Staurisirella berolinensis	
18			Ulnaria japonica	175 170
19			Ulnaria sp.	+
20			Thalassiosiraceae-5	1050 1650
21	Thalassiosiraceae-10	38550 64900		
22	Thalassiosiraceae-25	+		
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+ +
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+ 20
25			Chlorogonium spp.	+ 20
26			Dichotomococcus sp.	20
27			Dictyosphaerium spp.	40 120
28			Eudorina sp.	16
29			Micractinium spp.	50 80
30			Monoraphidium spp.	15 10
31			Pandorina morum	+ 8
32			Pediastrum biradiatum	
33			Pediastrum duplex	+
34			Scenedesmus acuminatus	+
35			Scenedesmus spp.	30 20
36			Tetrastrum elegans	
37			Treubaria sp.	
38		CHLOROPHYCEAE	50 15	
39	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	3 6
40			POLYHYMENOPHORA	5 10
41			-	CILIOPHORA
42	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+ +
43	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	375 300
44			鞭毛藻	75 50
45			鞭毛虫	200 275

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2025. 2. 12	2025. 2. 12
総数		41656	68963
種類組成	藍藻	23	36
	クリプト藻	75	65
	渦鞭毛藻	5	5
	黄色藻	0	0
	珪藻	40664	67885
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	221	326
	その他の植物性動物性	450	350
		218	296
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2025.2.21	2025.2.21	
採取時刻			9:25	9:49	
全水深(m)			1.85	1.45	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(4)	
2			Pseudanabaena spp.	(+)(20)	
3			CHROOCOCCALES	(5)(+)	
4			OSCILLATORIALES	(10)(20)	
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	5085	
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	515	
7	不等毛植物	黄緑藻	XANTHOPHYCEAE	5	
8			珪藻	Asterionella formosa	4
9				Aulacoseira ambigua	80450
10				Aulacoseira pusilla	8520
11				Fragilaria sp.	5
12				Gyrosigma sp.	1
13				Melosira varians	2
14				Nitzschia acicularis	170320
15				Nitzschia fruticosa	20
16				Nitzschia spp.	1540
17				Skeletonema potamos	1701130
18				Staurosirella berolinensis	+20
19				Ulnaria japonica	100210
20	Thalassiosiraceae-5	475425			
21	Thalassiosiraceae-10	4995067650			
22	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+20	
23	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+20	
24			Chlorogonium spp.	+10	
25			Chodatella quadriseta	+20	
26			Dictyosphaerium spp.	160140	
27			Micractinium spp.	4020	
28			Monoraphidium spp.	1510	
29			Oocystis sp.	+20	
30			Pandorina morum	168	
31			Scenedesmus spp.	1060	
32			CHLOROPHYCEAE	1535	
33	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	+20	
34	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	511	
35			POLYHYMENOPHORA	3540	
36			CILIOPHORA	520	
37	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+20	
38	不明プランクトン	-	微小鞭毛藻(5μm以下)	17525	
39			鞭毛藻	50	
40			鞭毛虫	175350	

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2025. 2. 21	2025. 2. 21
総数		51832	71179
種類組成	藍藻	15	44
	クリプト藻	50	85
	渦鞭毛藻	5	15
	黄色藻	0	0
	珪藻	51056	70286
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	256	303
	その他の植物性動物性	230	25
		220	421
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2025.3.3	2025.3.3
採取時刻			9:21	9:48
全水深(m)			1.90	1.45
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(2)
2			Aphanocapsa sp.	(5)
3			Pseudanabaena spp.	(25)
4			OSCILLATORIALES	(25)
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	25
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	10
7	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	6
8			Aulacoseira ambigua	125
9			Aulacoseira pusilla	+
10			Cymatopleura solea	+
11			Fragilaria spp.	+
12			Melosira varians	30
13			Navicula sp.	+
14			Nitzschia acicularis	390
15			Nitzschia fruticosa	+
16			Nitzschia spp.	35
17			Skeletonema potamos	115
18			Staurisirella berolinensis	
19			Ulnaria japonica	180
20			Thalassiosiraceae-5	725
21			Thalassiosiraceae-10	29700
22	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	80
23			Chlorogonium spp.	25
24			Chodatella quadriseta	
25			Dichotomococcus sp.	
26			Dictyosphaerium spp.	80
27			Micractinium spp.	
28			Monoraphidium spp.	5
29			Pandorina morum	16
30			Scenedesmus acuminatus	+
31			Scenedesmus spp.	20
32			Treubarria sp.	5
33			CHLOROPHYCEAE	75
34			輪形動物	輪虫
35	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	4
36			POLYHYMENOPHORA	5
37			-	CILIOPHORA
38	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	
39		真正太陽虫	HELIOZOA	+
40	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	125
41			鞭毛藻	25
42			鞭毛虫	150

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2025.3.3	2025.3.3
総数		31958	77736
種類組成	藍藻	2	57
	クリプト藻	25	50
	渦鞭毛藻	10	20
	黄色藻	0	0
	珪藻	31306	76605
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	306	320
	その他の植物性動物性	159	125
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2025.3.10	2025.3.10	
採取時刻			9:30	9:57	
全水深(m)			1.85	1.40	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena spp.	(5)	(10)
2			Snowella sp.	(5)	
3			OSCILLATORIALES	(20)	(25)
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	15	80
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+	+
6	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	+	
7			Aulacoseira ambigua	40	
8			Aulacoseira pusilla	+	+
9			Cymatopleura solea		+
10			Fragilaria spp.	+	5
11			Melosira varians	26	
12			Navicula sp.	+	
13			Nitzschia acicularis	330	800
14			Nitzschia spp.	20	40
15			Skeletonema potamos	190	425
16			Staurosirella berolinensis	+	
17			Ulnaria japonica	170	250
18			Ulnaria spp.	5	+
19			Thalassiosiraceae-5	625	3050
20	Thalassiosiraceae-10	31600	58200		
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	5	
22	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
23			Chlorogonium spp.		65
24			Chodatella quadriseta		20
25			Dichotomococcus sp.	20	
26			Dictyosphaerium spp.	140	220
27			Micractinium spp.	40	20
28			Monoraphidium spp.	5	20
29			Pandorina morum	224	96
30			Scenedesmus acuminatus	20	20
31			Scenedesmus bicaudatus		+
32			Scenedesmus spp.	+	60
33		CHLOROPHYCEAE	85	90	
34	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+
35		多膜口	Tintinnidium spp.	2	
36			POLYHYMENOPHORA	20	
37			CILIOPHORA	5	5
38	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	5	
39	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	175	25
40			鞭毛藻	50	25
41			鞭毛虫	175	375

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2025. 3. 10	2025. 3. 10
総数		34022	63926
種類組成	藍藻	30	35
	クリプト藻	15	80
	渦鞭毛藻	0	0
	黄色藻	0	0
	珪藻	33006	62770
	ユーグレナ藻	5	0
	その他の植物性	534	611
	動物性	225	50
検査条件		207	380
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 環境企画部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			